

2025 年度（令和 7 年度） 高崎経済大学大学院 学生募集要項

【 経済・経営研究科 】

☐ 博士前期課程

現代社会経済システム専攻
現代経営ビジネス専攻

☐ 博士後期課程

現代経済経営研究専攻

天災その他の事情により入学者選抜の実施に関して変更が生じる場合があります。
入試情報は、本学ホームページに掲載しますので、必ず確認してください。

経済・経営研究科の入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

大学院経済・経営研究科のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、入学受入れの基本方針を以下に示す。本研究科の教育理念と目標を十分に理解したうえで、求められる意欲と能力に満ちた学生及び社会人が広く国内外から入学することを期待する。

博士前期課程

【現代社会経済システム専攻】

○求める人材像

- 1 現代社会経済に関心を持ち、より高度な専門知識・能力の獲得を通じて、将来の研究者を目指す、又は社会人としての能力向上を目指す意欲を有する人
- 2 経済学における学士相当の専門知識を有し、これを基盤とした高度な学修及び研究を遂行する能力を有する人
- 3 経済学における学術的な文献や議論を理解するために必要な日本語運用能力及び語学力（英語）を有する人

○入学受入れの基本方針

筆記試験及び英語資格・検定試験のスコアにより、経済学の専門知識並びに学術的な文献を理解するために必要な英語の語学力を評価するとともに、研究計画書、面接等により、求める人材像に掲げる知識や能力、態度を総合的に評価し、選抜する。

【現代経営ビジネス専攻】

○求める人材像

- 1 現代経営ビジネスに関心を持ち、より高度な専門知識・能力の獲得を通じて、将来の研究者を目指す、又は社会人としての能力向上を目指す意欲を有する人
- 2 経営学や会計学における学士相当の専門知識を有し、これを基盤とした高度な学修及び研究を遂行する能力を有する人
- 3 経営学や会計学における学術的な文献や議論を理解するために必要な日本語運用能力及び英語の語学力を有する人

○入学受入れの基本方針

筆記試験及び英語資格・検定試験のスコアにより、経営学や会計学の専門知識並びに学術的な文献を理解するために必要な英語の語学力を評価するとともに、研究計画書、面接等により、求める人材像に掲げる知識や能力、態度を総合的に評価し、選抜する。

博士後期課程

【現代経済経営研究専攻】

○求める人材像

- 1 自らの探求する課題の本質を明確にし、その解決を図るために努力を通じて現代社会経済の発展に貢献する高度専門職業人を目指す意欲を有する人
- 2 現代社会経済への高度な理解・専門知識・分析能力を有し、専門的な研究活動を遂行する能力を有する人
- 3 海外の学術的な文献や研究発表を理解できるとともに、自らの研究成果を発信するために必要な日本語運用能力及び英語の語学力を有する人

○入学者選抜の基本方針

筆記試験及び英語資格・検定試験のスコアにより、経済学・経営学の専門知識並びに学術的な文献を理解するために必要な英語の語学力を評価するとともに、研究計画書、修士論文、口述試験、面接等により、求める人材像に掲げる知識や能力、態度を総合的に評価し、選抜する。

【授業時間】

第 1 時 限	8 時 5 0 分 ～ 1 0 時 2 0 分
第 2 時 限	1 0 時 3 0 分 ～ 1 2 時 0 0 分
第 3 時 限	1 2 時 4 0 分 ～ 1 4 時 1 0 分
第 4 時 限	1 4 時 2 0 分 ～ 1 5 時 5 0 分
第 5 時 限	1 6 時 0 0 分 ～ 1 7 時 3 0 分
第 6 時 限	1 8 時 0 0 分 ～ 1 9 時 3 0 分
第 7 時 限	1 9 時 3 5 分 ～ 2 1 時 0 5 分

※土曜日は、第5時限までです。

目 次

経済・経営研究科博士前期課程（第1期・第2期） 現代社会経済システム専攻・現代経営ビジネス専攻学生募集要項

I	一般学生選抜	1
II	社会人学生選抜	2
III	外国人留学生選抜	3
IV	選抜方法・試験科目・配点等	4
V	事前審査	5
VI	出願手続等	6
VII	研究指導教員の概要	10

経済・経営研究科博士後期課程学生募集要項

I	募集人員等	15
II	事前審査	17
III	出願手続等	18
IV	研究指導教員の概要	22

提出書類書式 ①～⑫

※提出書類は本学ホームページからダウンロードしてください。

経済・経営研究科博士前期課程（第1期・第2期） 現代社会経済システム専攻・現代経営ビジネス専攻学生募集要項

I 一般学生選抜

1 募集人員		第1期	第2期
	現代社会経済システム専攻	5人	若干人
	現代経営ビジネス専攻	5人	若干人

（本研究科の合格基準を満たさない場合、合格者が募集人員を下回ることがあります。）

2 研究指導分野

出願しようとする者は、あらかじめ志望する研究指導分野(10～12 ページ)を1つ選んで出願してください。

3 出願資格 次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者又は2025（令和7）年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者又は2025（令和7）年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了し、学士の学位を取得した者又は2025（令和7）年3月31日までに取得見込みの者
- (4) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が別に定める日以後に修了した者又は2025（令和7）年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (6) 本研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2025（令和7）年3月31日までに22歳に達する者

ただし、この(6)によって出願する者は、事前審査を行いますので、後述の「V 事前審査」（5ページ）に基づく手続きをとってください。

注1 出願資格取得見込みで出願した者が、2025（令和7）年3月31日までに取得できないことが確定した場合は、入学を許可しません。

注2 出願資格(2)における学士の学位授与見込みの者とは、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が定めている要件を満たすものと認定された短期大学又は高等専門学校に置かれた専攻科修了見込みの者で、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に学位の授与を申請し、授与される見込みの者です。

Ⅱ 社会人学生選抜

1 募集人員

	第1期	第2期
現代社会経済システム専攻	5人	若干人
現代経営ビジネス専攻	5人	若干人

(本研究科の合格基準を満たさない場合、合格者が募集人員を下回ることがあります。)

2 研究指導分野

出願しようとする者は、あらかじめ志望する研究指導分野(10～12 ページ)を1つ選んで出願してください。

3 出願資格 次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 2025(令和7)年3月31日までに大学卒業後2年以上の職務経験を有する者
 なお、以下の者も大学を卒業した者とみなす。
 - ① 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
 - ② 外国において、学校教育における16年の課程を修了し、学士の学位を取得した者
 - ③ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が別に定める日以後に修了した者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- (2) 5年以上の職務経験を有する者で、2025(令和7)年3月31日までに大学卒業見込みの者又は出願資格(1)の①～④の資格を取得見込みの者
- (3) 本研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、5年以上の職務経験を有する者
 ただし、この(3)によって出願する者は、事前審査を行いますので、後述の「V 事前審査」(5ページ)に基づく手続きをとってください。

注 出願資格取得見込みで出願した者が、2025(令和7)年3月31日までに取得できないことが確定した場合は、入学を許可しません。

4 大学院博士前期課程 長期履修制度

長期履修制度とは、社会人学生を対象に、職業を有している等の事情により2年間での修了が困難な場合、3年間の長期履修を認める制度です。

- (1) 申請対象者
 社会人選抜を出願した者
- (2) 長期履修期間
 3年
- (3) 年間授業料
 標準修業年限(2年)分の授業料を3で除した額
- (4) 提出書類
 出願時に長期履修生申請書(提出書類⑨)により申請してください。なお、提出書類⑨には、在職証明書(就労時間及び就労する曜日がわかるもの)等の修学、研究の時間が制限される事を証明する書類を添付してください。

※入学が許可された場合でも長期履修申請は不可になることもあります。

Ⅲ 外国人留学生選抜

1 募集人員		第1期	第2期
	現代社会経済システム専攻	若干人	若干人
	現代経営ビジネス専攻	若干人	若干人

(本研究科の合格基準を満たさない場合、合格者が募集人員を下回ることがあります。)

2 研究指導分野

出願しようとする者は、あらかじめ志望する研究指導分野(10～12 ページ)を1つ選んで出願してください。

3 出願資格 日本国籍を有しない者で、日本語能力試験のN1レベルを取得しており、次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 外国において、学校教育における16年の課程を修了し、学士の学位を取得した者又は2025(令和7)年3月31日までに取得見込みの者
- (2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者で、次の2つのどちらかに該当する者
 - ① 日本の大学を卒業し、学士の学位を取得した者又は2025(令和7)年3月31日までに取得見込みの者
 - ② 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が別に定める日以後に修了した者又は2025(令和7)年3月31日までに修了見込みの者
- (3) 大学卒業までに16年を要しない国からの外国人留学生であって、次の2つの条件を満たし、かつ、本研究科が日本国内の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
 - ① 大学教育修了後日本国内若しくは国外の大学、大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員として1年以上研究に従事した者又は2025(令和7)年3月31日までに1年以上研究に従事する見込みの者
 - ② 2025(令和7)年3月31日までに22歳に達する者
- (4) 本研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2025(令和7)年3月31日までに22歳に達する者

ただし、出願資格(3)(4)によって出願する者は、事前審査を行いますので、後述の「V 事前審査」(5ページ)に基づく手続きをとってください。

注 出願資格取得見込みで出願した者が、2025(令和7)年3月31日までに取得できないことが確定した場合は、入学を許可しません。

IV 選抜方法・試験科目・配点等

1 選抜方法・試験科目・配点の概要

入学者の選抜は、英語（外部検定試験の成績を得点換算）、専門科目に関する筆記試験、研究計画書、成績証明書及び面接試験により総合的にを行います。

試験科目及び配点は下記のとおりです。

試 験 日 (注1)		試 験 科 目	試 験 時 間	遅刻者入室限度(注2)	配 点
第1期 2024(令和6)年 9月14日(土)	第2期 2025(令和7)年 2月16日(日)	英語(注3)	—	—	100点
		専門科目試験	9:30～10:50	試験開始後30分(10:00)	100点
		面接試験(注4)	11:15～	—	100点
合計					300点

（注1）受験者は、午前9時00分までに試験場（高崎経済大学）に集合し、係員の指示に従ってください。

（注2）試験開始時刻に遅刻した場合は、上記遅刻者入室限度までは入室できますが、試験時間の延長はありません。

なお、遅刻により入室できなかった場合でも、入学検定料は返還しません。

（注3）英語の筆記試験は実施しません。TOEIC 若しくは TOEFL iBT のスコアシート又は実用英語技能検定（以下、英検）の合格証明書を提出してください。なお、スコアシート、証明書の提出については6～7ページで確認してください。

（注4）面接試験の開始時刻については、志願状況等により変更となる場合があります。

英語：下記3に示す基準で換算した得点を英語の得点とします。

専門科目試験：次の科目から志望する研究指導分野（10～12ページ）に対応する専門科目1科目を受験してください。なお、専攻ごとに【課題図書】（13～14ページ）を指定しています。

（現代社会経済システム専攻）

経済学方法論、西洋経済史、教育心理学、労働経済、EU、日本経済史、マクロ経済、社会思想史、貿易政策、国際経済、公共経済学、金融論、経済数学、環境経済

（現代経営ビジネス専攻）

エクイティ・インベストメント、日本経営史、消費者行動論、知的財産法、国際経営、経営戦略、民法、人事労務管理、管理会計、経営組織、財務会計

面接試験：入学志願票、研究計画書、成績証明書を参照し、専攻に関する事項及びその他について行います。

2 成績優秀者の特例について

本学経済学部を2025（令和7）年3月31日に卒業見込みの者で、3年次前期終了時の単位修得科目（教職課程科目を除く）のうち優及び秀の数が40個以上である者は、英語及び専門科目試験を免除します。特例対象者には、大学院筆記試験免除通知を3年次前期の学業成績通知書に同封し送付しています。

3 英語の得点換算について

TOEIC、TOEFL iBT 又は英検の成績を次の基準で換算した得点を英語の得点とします。

【得点換算表】

TOEICスコア(注1)(注2)	TOEFL iBTスコア(注1)	英検	換算得点
730以上	80以上	1級	100
700～729	75～79	準1級	90
650～699	70～74		80
600～649	65～69		70
550～599	60～64		60
500～549	55～59		50
450～499	50～54		40
400～449	45～49		30

（注1）TOEIC、TOEFL iBT のスコアは出願期間最終日（第1期 2024（令和6）年8月23日、第2期2025（令和7）年1月27日）から遡って2年以内に受験したもの。

（注2）TOEIC のスコアは日本国内で受験したものに限りません。また、TOEIC IP スコアは認めません。

V 事前審査（該当者のみ）

一般学生選拔出願資格(6)、社会人学生選拔出願資格(3)又は外国人留学生選拔出願資格(3)(4)に基づく出願希望者について、出願資格の認定のため、次のとおり事前審査を行います。

1 手続方法

(1) 提出書類

書 類 等	備 考
① 志願理由書 ・ワープロソフトで作成したもの（A4判、本文3,200字以内）。 ・学歴・職歴、卒業論文・実務経験など、これまでの学習内容、大学院で研究しようとするテーマ、解明したい事項などを具体的に記述してください。	提出書類⑫
② 学士と同等以上の学力を証明するもの ・外国人留学生選拔出願資格(3)(4)の出願希望者で、卒業証明書が発行されない場合のみ、卒業証書のコピーを使用してもかまいません。その場合、 <u>当該コピーが原本と相違ないことを証明する大使館等の公的機関による証明が必要です。</u> また、日本語訳を必ず添付してください。	卒業証書の原本は受け付けません。
③ 最終学歴の成績証明書 ・外国人留学生選拔出願資格(3)(4)の出願希望者で、成績証明書が発行されない場合のみ、成績書のコピーを使用してもかまいません。その場合、 <u>当該コピーが原本と相違ないことを証明する大使館等の公的機関による証明が必要です。</u> また、日本語訳を必ず添付してください。	成績書の原本は受け付けません。
④ 研究歴証明書 ・研究歴がある場合のみ提出してください。	提出書類⑦
⑤ 研究業績報告書 ・ワープロソフトで作成したもの。 ・研究業績がある場合のみ提出してください。	様式は問いません。
⑥ 審査結果送付用封筒 ・市販の封筒（長形3号）に住所、氏名、郵便番号を明記し、「審査結果在中」と朱書きした上で、第1期に出願する場合は <u>344円分</u> 、第2期に出願する場合は <u>410円分</u> の切手を貼ってください。	

(2) 提出方法 本学所定の様式を用い、提出前に提出書類がすべてそろっていることを確認のうえ、市販の封筒（角形2号）に「経済・経営研究科博士前期課程 事前審査書類在中」と朱書きし、下記の提出先へ「持参」又は「郵送（簡易書留・速達）」してください。本学所定の様式等を使用しない場合は受け付けません。

(3) 提出期間 第1期 2024（令和6）年 7月10日（水）～ 7月17日（水）
第2期 2024（令和6）年 12月11日（水）～ 12月18日（水）
○持参の場合 午前9時から午後5時まで（土曜日、日曜日及び祝日は受付を行いません。）
○郵送の場合 各日程の提出期間最終日の午後5時【**必着**】

(4) 提出先 〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町1300 高崎経済大学 入試広報グループ入試チーム

2 審査結果

事前審査の結果は、下記の日程で郵送により本人あてに通知します。

第1期：2024（令和6）年 8月8日（木）

第2期：2025（令和7）年 1月9日（木）

3 出願手続

事前審査により出願資格の認定を受けた者は、本募集要項に基づく出願手続（6～8ページ）を行ってください。

VI 出願手続等

入学後に研究指導分野を変更することはできません。志望する研究指導分野が、入学後、研究しようとする領域、特に修士論文の主題として取り上げたいと考えている研究テーマに則しているか確認してから出願してください。

1 出願手続

- (1) 出願方法 本学所定の様式を用い、提出前に提出書類がすべてそろっていることを確認のうえ、市販の封筒（角形2号）に本学ホームページからダウンロード・印刷した「出願用宛名ラベル」を貼付し、下記の出願先へ「持参」又は「郵送（簡易書留・速達）」してください。本学所定の様式等を使用しない場合は、出願を認めません。
- (2) 出願期間 第1期 2024（令和6）年8月16日（金）～8月23日（金）
第2期 2025（令和7）年1月20日（月）～1月27日（月）
○持参の場合 午前9時から午後5時まで（土曜日、日曜日及び祝日は受付を行いません。）
○郵送の場合 各日程の出願期間最終日の午後5時【**必着**】
- (3) 出願先 〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町1300 高崎経済大学 入試広報グループ入試チーム
- (4) 入学検定料 30,000 円
（本学ホームページからダウンロード・印刷した「入学検定料振込依頼書」により、金融機関（郵便局、ゆうちょ銀行除く）で納入してください。なお、振込手数料は本人負担となります。）
※納入した入学検定料は、どのような理由があっても返還しません。ただし、次の①又は②に該当する場合は入学検定料を返還しますので、各日程の出願期間最終日までに、入試広報グループ入試チームまで問い合わせてください（振込手数料は本人負担となります）。
なお、①②のほか、出願を受理しなかった場合は、本学から返還手続の案内を行います。
① 二重に納入した場合
② 入学検定料の納入後、出願手続をしなかった場合
- (5) 提出書類
下記の【**志願者全員が提出する書類等**】及び【**該当者のみ提出する書類等**】を一括して提出してください。
書類がすべてそろっていない場合及び書類に不備がある場合は受け付けません。
また、出願手続後は、提出書類の返却及び記載事項の変更は認めません。ただし、氏名・住所・電話番号に変更があった場合は、事前に連絡をした後、変更事項を「簡易書留」で入試広報グループ入試チームまで郵送してください。

【志願者全員が提出する書類等】

書 類 等	備 考
① 入学志願票 ・写真2枚（同一の写真）は、B・C票の写真貼付欄の規定にしたがって貼ってください。入学検定料の振込連絡票はD票に貼ってください。	提出書類①～③ ①、②は該当するものいづれか1つを使用してください。
② 卒業（見込）証明書又は独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行する学士の学位授与証明書（学位授与申請受理証明書） ・外国人留学生選拔出願資格(1)の志願者で、卒業証明書が発行されない場合のみ、卒業証書のコピーを使用してもかまいません。その場合、 <u>当該コピーが原本と相違ないことを証明する大使館等の公的機関による証明が必要です。</u> また、日本語訳を必ず添付してください。	卒業証書の原本は受け付けません。 事前審査を行った方は、提出不要です。
③ 出身又は在学の大学の成績証明書 ・外国人留学生選拔出願資格(1)の志願者で、成績証明書が発行されない場合のみ、成績書のコピーを使用してもかまいません。その場合、 <u>当該コピーが原本と相違ないことを証明する大使館等の公的機関による証明が必要です。</u> また、日本語訳を必ず添付してください。	成績書の原本は受け付けません。 事前審査を行った方は、提出不要です。
④ TOEIC の公式認定証、TOEFL iBT の Official Score Report（公式スコア票）（注1）又は英検の合格証明書（注2）	TOEIC、TOEFL iBT を利用する場合は、出願最終日までに大学へ直接送付されるよう各機関に手続きすること

⑤ 研究計画書 ・ワープロソフトで作成したもの（A4判、本文2,000字以内）。 ・大学院で研究しようとするテーマ、解明したい事項などを具体的に記述してください。	提出書類⑥ 事前審査を行った方は、提出不要です。
⑥ 受験票送付用封筒 ・市販の封筒（長形3号）に住所、氏名、郵便番号を明記し、「受験票在中」と朱書きした上で、第1期に出願する場合は <u>344 円分</u>、第2期に出願する場合は <u>410 円分</u>の切手を貼ってください。	

（注1）TOEICの公式認定証又はTOEFL iBTのOfficial Score Report（公式スコア票）の提出は、**出願期間最終日までに大学へ直接送付**されるように各機関に手続きをしてください。

[TOEIC スコア]

- ・送付制度の詳細は次のWEBサイトを参照してください。
直送制度案内HP <https://www.iibc-global.org/toEIC/test/lr/guide04/score.html>（日本語版）
<https://www.iibc-global.org/english/toEIC/test/lr/guide05/score.html>（英語版）
- ・送付先は次のように記入してください。
送付先学校機関名：高崎経済大学
送付先住所：〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町1300
送付先部署・係：入試広報グループ入試チーム
- ・送付についての問合せ先
一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会 IIBC 試験運営センター 公式認定証直送係
TEL：03-5521-6033

[TOEFL iBT スコア] ※Test Taker Score Report（受験者用控えスコア票）は使用できません。

- ・送付制度の詳細は次のWEBサイトを参照してください。
TOEFL 公式サイト（日本）<https://www.toefl-ibt.jp>
ETS 公式サイト（米国）<https://www.ets.org>
- ・TOEFL iBT 受験申込時にDIコード番号を所定欄に記入するか、すでに受験が終わっている場合はTOEFL 実施機関であるETSに送付手続きをしてください。
- ・送付のためのDIコード
高崎経済大学のDIコード：2177

（注2）英検の合格証明書は出願書類と一緒に原本（英文・和文いずれも可）を提出してください。
英検についての詳細は、次のWEBサイトを参照してください。
英検公式サイト <https://www.eiken.or.jp>

【該当者のみ提出する書類等】

該 当 者	書 類 等	備 考
提出可能な志願者（全員）	研究歴証明書 ・研究歴がある場合のみ提出してください。	提出書類⑦ 事前審査を行った方は、提出不要です。
	研究業績報告書 ・ワープロソフトで作成したもの。 ・研究業績がある場合のみ提出してください。	様式は問いません。 事前審査を行った方は、提出不要です。
日本国籍を有しない者(全員)	住民票の写し ・日本国内の市区町村発行の在留資格を明記したもの ・マイナンバー（個人番号）の記載がないもの	コピー不可
	日本語能力試験の成績証明書 （N1レベルの合格がわかるもの）	コピー不可 日本の大学・大学院を卒業・修了（見込み）している者は提出不要
社会人学生（全員）	職歴等証明書	提出書類⑧
成績優秀者の特例対象者（全員）	大学院筆記試験免除通知	特例の対象者となる方には、3年次前期の学業成績通知書と一緒に送付しています。
長期履修申請者（全員）	長期履修生申請書	提出書類⑨
	在職証明書(就労時間及び就労する曜日がわかるもの)等の修学、研究の時間が制限される事を証明する書類	様式は問いません。

- 2 試験日 第1期 2024（令和6）年9月14日（土）
第2期 2025（令和7）年2月16日（日）

- 3 試験場 高崎経済大学

- 4 合格発表 第1期 2024（令和6）年9月20日（金）
第2期 2025（令和7）年2月21日（金）

合格者には、郵送により本人あて（入学志願票の現住所）に合格通知書を送付します。併せて、合格発表日の午前10時から一定期間、合格者の受験番号を本学ホームページに掲載しますが、合格通知書をもって正式な通知とします。電話等での可否の問い合わせには応じません。

5 入学手続

- (1) 手続方法 入学手続期間内の決められた時刻までに、入学料を納入し、入学手続書類を下記の手続先へ「持参」又は「郵送（簡易書留・速達）」してください。詳細は、合格通知書同封の「入学手続の手引き」でお知らせします。
- (2) 手続期間 第1期 2024（令和6）年9月20日（金）～10月4日（金）
第2期 2025（令和7）年2月21日（金）～3月7日（金）
○持参の場合 午前9時から午後5時まで（土曜日、日曜日及び祝日は受付を行いません。）
○郵送の場合 各日程の手続期間最終日の午後5時【必着】
- (3) 手続先 〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町1300 高崎経済大学 入試広報グループ入試チーム
- (4) 入学料

納 入 金	金 額	備 考
入 学 料（注1）	282,000 円	高崎市内在者（注2）及び本学卒業生は141,000 円

上記の額は、2024（令和6）年4月1日現在のもので、改定することがあります。納入方法等は「入学手続の手引き」でお知らせします。

(注1) 納入した入学料は、どのような理由があっても返還しません。ただし、次の①又は②に該当する場合は入学料を返還しますので、各日程の受付期間最終日までに、入試広報グループ入試チームまで問い合わせてください（振込手数料は本人負担となります）。

① 二重に納入した場合

② 入学料の納入後、入学手続をしなかった場合

(注2) 高崎市内者とは、2025（令和7）年4月1日現在において、本人自身、その者の配偶者又は1親等の親族が、引き続き1年以上高崎市に住所を有する者（2024（令和6）年4月1日から2025（令和7）年4月1日まで引き続き高崎市に住民登録のある者）をいいます。

なお、高崎市内者は入学料の納入に関して確認手続があります。詳細は「入学手続の手引き」でお知らせします。

(5) 合格者が、入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、合格者としての権利を失うとともに、入学辞退者として取り扱います。

6 入学料以外の入学初年度納入金

納 入 金		金 額	備 考
授業料	前 期	260,400 円	4 月徴収予定
	後 期	260,400 円	10 月徴収予定
諸 会 費 等	学生教育研究災害傷害保険料	1,750 円	入学時（2年間分）
	学会費	4,000 円	入学時（2年間分）
	後援会費（注）	37,500 円	入学時
	同窓会費（注）	20,000 円	入学時
小 計		63,250 円	
合 計		584,050 円	

上記の額は、2024（令和6）年4月1日現在のもので、改定することがあります。改定が行われた場合には、改定後の授業料及び諸会費等が適用されます。納入方法等は、「入学手続の手引き」でお知らせします。

（注）後援会費及び同窓会費について、すでに納入した本学卒業生（卒業見込者も含む）は不要です。

7 個人情報の取り扱い

出願及び受験に伴う個人情報は、入学者の選抜（統計処理などの付随する業務を含む）に使用します。また、入学者については、教務関係、学生支援関係及び授業料等徴収関係に関する業務を行うために使用します。なお、以上の業務にあたり、一部の業務を個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、外部の事業者へ委託することがあります。

8 その他

- (1) 障害のある者等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性のある志願者は、出願の前にあらかじめ入試広報グループ入試チームに相談してください。
- (2) 授業料の減免又は分割納入については本学学生支援チームにお問い合わせください。

高崎経済大学 教育グループ学生支援チーム

T E L 027-344-6262（直通）

E-mail gakusei@tcue.ac.jp

- (3) 奨学金については、本学ホームページ「キャンパスライフ」－「学費・奨学金等」を確認し、詳細は、日本学生支援機構、教育グループ学生支援チーム又は出身大学等に問い合わせてください。奨学金を利用する場合は、事前に内容、時期等を関係機関で確認してください。

VII 研究指導教員の概要

入学を許可された場合には、出願時に選択した研究指導分野と併せて同担当教員の研究科目を必ず履修しなければなりません。

現代社会経済システム専攻

研究指導分野	担当教員	演習の概要
経済学方法論	伊藤 宣 広	ケインズおよびケンブリッジ学派の経済学について、関連する文献を輪読しつつ理解を深める。また、修士論文作成に向けて、論文の読み方、書き方について指導を行う。
西洋経済史	唐澤 達 之	欧米の社会経済システムの特徴を歴史的な視角から理論的・実証的に検討する。また、その前提となる研究方法（史資料の探索方法・読み方、研究テーマの設定、問題の整理・展開の方法など）の修得をめざす。
教育心理学	木下 ま ゆ み	人の学びのプロセスについて、認知的アプローチに基づいた研究を行う。そのために、主要な理論や最新の研究動向を把握理解し、心理学の研究手法や統計分析に関する知識技能を身につけ、自身の関心に沿った研究計画を立案・実施する。
労働経済	小林 徹	労働問題の構造をミクロ経済学のフレームワークで考え、問題の発生要因に関する理論仮説を考察する方法を学ぶ。また、計量経済学の手法を用いてデータから仮説を検証する方法を学ぶ。
E U	土谷 岳 史	E Uの基本的知識を身につけるとともに、E Uの諸制度や政策について政治学的に探究する。特に、英語でのE U研究の最先端の議論について理解を深め、自身の修士論文作成につながるよう指導する。
日本経済史	富澤 一 弘	近世・近代農村経済史研究上の重要主題に即して、既刊の史料集、ならびに原文書を活用した専門的演習を行うとともに、学生自身の研究主題に応じた史料論、史料蒐集法、史料分析法について適切な指導を行う。
マクロ経済	中野 正 裕	経済主体の動学的最適化を前提とする主流のマクロ経済分析について、文献を輪読しその構造的理解につとめる。またそのように記述される経済において、貨幣・金融システムがどのような意義と役割をもつかを検討する。
社会思想史	名和 賢 美	社会思想の発展に多大なる影響を与えた古代ギリシアの諸理論について原典講読をすると同時に、ラテン語訳および近代諸言語訳も比較参照し、思想全体の流れを深く考察する。
貿易政策	野崎 謙 二	日本を含むアジア太平洋地域の経済統合の進展について分析する。特に、自由貿易協定や経済連携協定の政治経済的な効果を、文献講読や経済統計の分析により多面的に検討する。
国際経済	藤井 孝 宗	現在の激しい国際経済環境の変化に対応するため、国内外の最新学術研究を輪読して知識を身につけるとともに、統計分析による「正しい」問題把握のスキルを身につける。
公共経済学	溝口 哲 郎	ミクロ経済学の手法を応用し、政府部門の役割とその効率性について文献を輪読、理解を深める。特に政府部門の腐敗・汚職が経済社会にもたらす影響について、文献を調査しながら知識を深め、政策提言につなげるような研究指導を行う。
金融論	森 祐 司	金融経済学の一分野である「バンキング」あるいは「金融仲介」についての専門領域を中心に研究する。地域金融を主な対象とするが、様々な金融機関行動の分析も、適宜、研究していく。

研究指導分野	担当教員	演習の概要
経済数学	山崎薫里	位相数学、解析学を中心とした数学を学び、自らが正しく理論を展開できるための数理的手法を身につける。また、理解した理論や身につけた手法を、経済現象等の解析に応用することをめざす。
環境経済	山本芳弘	環境・エネルギー問題からテーマを設定し、ミクロ経済学的視点からの研究とそれに必要な分析手法の習得を行う。政策的含意を得ることに主眼を置く。当該問題に取り組む社会人学生にも対応している。

現代経営ビジネス専攻

研究指導分野	担当教員	演習の概要
エクイティ・インベストメント	阿部圭司	エクイティ・インベストメント全般を対象とし、主に実証ファイナンスに関する内外の文献を講読する。資産価格形成モデル、効率的市場仮説などの基本的概念や金融エコノメトリクス入門レベルの知識を前提とする。
日本経営史	加藤健太	経営史は、企業発展のダイナミズムを追求する学問領域である。企業勃興を契機とする日本企業の発展要因とその時代的特質を理解するため、経営史・産業史・経済史関連の文献講読を行う。さらに、先行研究を踏まえて課題を設定し、一次史料を利用して実証研究を行う。
消費者行動論	佐藤敏久	継続的な文献購読から理論と現象を往復し、消費プロセスにおけるリサーチクエスションを設定する。その研究方法としてデータ分析やインタビュー等を用いて論文作成に取り組む。 予め、マーケティングや心理学、統計学等について知識があることが望ましい。
知的財産法	澤田悠紀	知的財産に関する法や政策について、関連する国内外の基本書や論文等の精読および判例学説の検討を通じて研究を深め、討論を行い、質の高い論文の執筆へとつなげる。
国際経営	清水さゆり	企業の国際的な事業活動とそれに付随する固有の問題に興味をもち、多角的な視点で捉えようとするものである。国内外の国際経営および経営学に関する文献研究と事例研究を行う。
経営戦略	関根雅則	企業の存続・成長にとってイノベーションは不可欠な要因である。そこで、本演習では、環境変化に合致したイノベーションを効率よく実現するための経営戦略について、理論と実践の両面から研究する。
民法	谷口聡	民法はわが国の重要な法体系であり、社会における取引・契約に関する基礎的なルールを規定している。このような民法領域の取引法・契約法に関する具体的問題について、判例を重視しつつ、法理論的研究を行う。
人事労務管理	永田瞬	人事労務管理の理論や歴史的展開を学びながら、学会レベルの研究の到達点を理解する。国内外の学術的研究成果を精読し、議論をすることで、基礎的な力を身につける。
管理会計	中村彰良	管理会計の有用性の喪失が唱えられてから、管理会計の分野では、様々な模索が続いている。伝統的な管理会計の理解を前提に、比較的新しい問題に関して研究を進め、修士論文につなげる。
経営組織	藤本哲	経営組織論の研究対象領域に関わる文献の講読を通じて幅広く知識を習得するとともに、経営組織論に即して自らの問題意識を練り上げつつ調査と研究を進める。

研究指導分野	担当教員	演 習 の 概 要
財 務 会 計	藻 利 衣 恵	規範・記述研究を用いて、財務会計に関する国内外の文献を分析する。主としては、財務会計における基礎概念と個別基準との関係を分析する整合性分析を用いた検討を予定している。

●経済・経営研究科博士前期課程「専門科目」の課題図書

専門科目試験は下記の課題図書の中から出題します。

現代社会経済システム専攻

研究指導分野	担当教員	課 題 図 書
経 済 学 方 法 論	伊 藤 宣 広	伊東光晴/著 『ケインズ』（講談社学術文庫）
		根井雅弘/著 『経済学の歴史』（講談社学術文庫）
西 洋 経 済 史	唐 澤 達 之	河崎信樹、村上衛、山本千映/著 『グローバル経済の歴史』（有斐閣）
		水島司、島田竜登/著 『グローバル経済史』（放送大学教育振興会）
教 育 心 理 学	木 下 ま ゆ み	子安増生、楠見孝、齊藤智、野村理朗/編 『教育認知心理学の展望』（ナカニシヤ出版）
		今井むつみ、野島久雄、岡田浩之/著 『新・人が学ぶということ-認知学習論からの視点』（北樹出版）
労 働 経 済	小 林 徹	大森義明/著 『労働経済学』（日本評論社）
		山本勲/著 『実証分析のための計量経済学』（中央経済社）
E U	土 谷 岳 史	庄司克宏/著 『欧州ポピュリズム』（筑摩書房）
		池本大輔、板橋拓己、川嶋周一、佐藤俊輔/著 『EU政治論』（有斐閣）
日 本 経 済 史	富 澤 一 弘	五味文彦、渡辺尚志/編 『土地所有史』（山川出版社）
		桜井英治、中西聡/編 『流通経済史』（山川出版社）
マ ク ロ 経 済	中 野 正 裕	古沢泰治、塩路悦朗/著 『ベーシック経済学一次につながる基礎固め [新版]』（有斐閣）
		宮尾龍蔵/著 『コア・テキスト マクロ経済学（第2版）』（新世社）
社 会 思 想 史	名 和 賢 美	山岡龍一/著『西洋政治理論の伝統』（放送大学教育振興会）
		川出良枝、山岡龍一/著『西洋政治思想史 視座と論点』（岩波書店）
貿 易 政 策	野 崎 謙 二	木村福成/著 『国際経済学入門』（日本評論社）
		日本貿易振興機構(ジェトロ)/著 『TPP 11 解説書：TPP 11 の特惠関税の活用について』
国 際 経 済	藤 井 孝 宗	石川城太、椋寛、菊池徹/著 『国際経済学をつかむ（第2版）』（有斐閣）
		N・グレゴリー・マンキュー/著 『マンキュー入門経済学(第3版)』（東洋経済新報社）
公 共 経 済 学	溝 口 哲 郎	寺井公子、肥前洋一/著 『私たちと公共経済』（有斐閣）
		林正義、小川光、別所俊一郎/著 『公共経済学』（有斐閣）
金 融 論	森 祐 司	堀江康熙、有岡律子、森祐司/著 『テキスト金融論第2版』（新世社）
経 済 数 学	山 崎 薫 里	中井達/著 『経済数学 微分積分編』（ミネルヴァ書房）
		中井達/著 『経済数学 線形代数編』（ミネルヴァ書房）

研究指導分野	担当教員	課 題 図 書
環 境 経 済	山 本 芳 弘	N・グレゴリー・マンキュー/著 『マンキュー経済学Ⅰ ミクロ編(第4版)』(東洋経済新報社)
		ニック・ハンレー、ジェイソン・ショグレン、ベン・ホワイト/著 『環境経済学入門』(昭和堂)

現代経営ビジネス専攻

研究指導分野	担当教員	課 題 図 書
エ ク イ テ ィ ・ インベストメント	阿 部 圭 司	古川浩一、蜂谷豊彦、中里宗敬、今井潤一/著 『コーポレート・ファイナンスの考え方』(中央経済社)
		石野雄一/著 『増補改訂版 道具としてのファイナンス』(日本実業出版社)
日 本 経 営 史	加 藤 健 太	経営史学会/編 『日本経営史の基礎知識』(有斐閣)
		宮本又郎、阿部武司、宇田川勝、沢井実、橘川武郎/著 『日本経営史 [第3版]』(有斐閣)
消 費 者 行 動 論	佐 藤 敏 久	田中洋/著 『消費者行動論体系』(中央経済社)
		杉本徹雄/編 『新・消費者理解のための心理学』(福村出版)
知 的 財 産 法	澤 田 悠 紀	中山信弘/著 『著作権法』(有斐閣)
		中山信弘/著 『特許法』(弘文堂)
国 際 経 営	清 水 さ ゆ り	江夏健一、桑名義晴/編著 『理論とケースで学ぶ国際ビジネス 第4版』(同文館出版)
		浅川和宏/著 『新装版 グローバル経営入門』(日本経済新聞出版)
		井原久光/著 『テキスト経営学 第3版』(ミネルヴァ書房)
経 営 戦 略	関 根 雅 則	嶋口充輝、内田和成、黒岩健一郎/編著 『1からの戦略論 (第2版)』(中央経済社)
		網倉久永、新宅純二郎/著 『経営戦略入門』(日本経済新聞出版)
民 法	谷 口 聡	近江幸治/著 『民法講義Ⅰ 民法総則 [第7版]』(成文堂)
		潮見佳男/著 『民法 (全) (第2版)』(有斐閣)
人 事 労 務 管 理	永 田 瞬	黒田兼一/著 『戦後日本の人事労務管理』(ミネルヴァ書房)
		今野浩一郎、佐藤博樹/著 『新装版 人事管理入門』(日本経済新聞出版)
管 理 会 計	中 村 彰 良	岡本清、廣本敏郎、尾畑裕、挽文子/著 『管理会計 (第2版)』(中央経済社)
		宮本寛爾、小菅正伸/編著 『管理会計概論』(中央経済社)
経 営 組 織	藤 本 哲	桑田耕太郎、田尾雅夫/著 『組織論 補訂版』(有斐閣)
		伊丹敬之、加護野忠男/著 『ゼミナール経営学入門 新装版』(日本経済新聞出版)
財 務 会 計	藻 利 衣 恵	斎藤静樹/著 『企業会計入門 補訂版』(有斐閣)
		桜井久勝/著 『財務会計講義 (第24版)』(中央経済社)

経済・経営研究科博士後期課程学生募集要項

I 募集人員等

- 1 募集人員 現代経済経営研究専攻 4人
(本研究科の合格基準を満たさない場合、合格者が募集人員を下回ることがあります。)
- 2 出願資格 次の各号のいずれかに該当する者。ただし、日本国籍を有しない者は、日本語能力試験のN1レベルを取得していること。
- (1) 修士の学位を有する者又は2025(令和7)年3月31日までに取得見込みの者
 - (2) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者又は2025(令和7)年3月31日までに授与される見込みの者
 - (3) 文部科学大臣の指定した者(平成元年文部省告示第118号)
 - (4) 本研究科において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2025(令和7)年3月31日までに24歳に達する者
- 注1 修士の学位の種類は問いません。
- 注2 出願資格取得見込みで出願した者が、2025(令和7)年3月31日までに取得できないことが確定した場合は、入学を許可しません。
- 注3 出願資格(3)に該当する者とは、大学を卒業後又は外国において学校教育における16年の課程を修了後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において、該当研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者をいいます。
- 注4 出願資格(4)に該当する者には、大学を卒業した者のほか、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校を卒業した者や外国大学日本校、外国人学校等を修了した者等も含まれます。
- 注5 出願資格(3)(4)によって出願する者は、事前審査を行いますので、後述の「II 事前審査」(17ページ)に基づく手続きをとってください。

3 選抜方法・試験科目・配点等

(1) 選抜方法・試験科目・配点の概要

入学者の選抜は、修士論文、英語(外部検定試験の成績を得点換算)、専門科目に関する筆記試験、研究計画書、口述試験及び提出書類により総合的に行います。

試験日(注1)	試験科目	試験時間	遅刻者入室限度(注2)	配点
2025(令和7)年 2月16日(日)	英語(注3)	—	—	100点
	専門試験	10:00~11:00	試験開始後30分(10:30)	100点
	口述試験(1人30分程度)(注4)	12:00~	—	100点
合計				300点

(注1) 受験者は、午前9時30分までに試験場(高崎経済大学)に集合し、係員の指示に従ってください。

(注2) 試験開始時刻に遅刻した場合は、上記遅刻者入室限度までは入室できますが、試験時間の延長はありません。

なお、遅刻により入室できなかった場合でも、入学検定料は返還しません。

(注3) 英語の筆記試験は実施しません。TOEIC 若しくは TOEFL iBT のスコアシート又は実用英語技能検定(以下、英検)の合格証明書を提出してください。なお、スコアシート、証明書の提出については18~19ページで確認してください。

(注4) 口述試験の開始時刻については、志願状況等により変更となる場合があります。

英語：次ページ(2)の基準で換算した得点を英語の得点とします。

専門科目試験：下記の科目から志望する研究指導分野(22ページ)に対応する専門科目1科目を受験してください。

企業財務、日本経済史、経営組織

口述試験：修士論文、入学志願票及び研究計画書に基づいて専攻に関連する事項及びその他について行います。

(2) 英語の得点換算について

TOEIC、TOEFL iBT 又は英検の成績を次の基準で換算した得点を英語の得点とします。

【得点換算表】

TOEICスコア(注1)(注2)	TOEFL iBTスコア(注1)	英検	換算得点
800以上	85以上	1級	100
750～799	80～84		90
700～749	75～79	準1級	80
650～699	70～74		70
600～649	65～69		60
550～599	60～64		50
500～549	55～59		40
450～499	50～54		30

(注1) TOEIC、TOEFL iBT のスコアは出願期間最終日（2025（令和7）年1月27日）から遡って2年以内に受験したもの。

(注2) TOEIC のスコアは日本国内で受験したものに限りません。また、TOEIC IP スコアは認めません。

4 大学院博士後期課程 長期履修制度

職業を有していること等の事情により、標準修業年限3年を超えて一定期間にわたり教育課程を履修し、課程を修了することを認める制度です。

(1) 申請対象者

本学大学院博士後期課程の受験を希望する者で、かつ次の各号のいずれかに該当する者。ただし、留学生は対象としません。

- ① 職業を有し、就業している者
- ② 家事、育児、介護等に当たる必要があるため、修学、研究の時間が制限される者
- ③ その他、学長が認めた者

(2) 長期履修期間

在学年限の範囲内の1年単位で定め、4年、5年又は6年とします。

(3) 年間授業料

標準修業年限分の授業料を、履修することが認められた年限（4年、5年又は6年）で除した額とします。

(4) 提出書類

出願時に長期履修生申請書（提出書類⑨）により申請してください。なお、提出書類⑨には、在職証明書（就労時間及び就労する曜日がわかるもの）等の修学、研究の時間が制限される事を証明する書類を添付してください。

※入学が許可された場合でも長期履修申請は不可になることもあります。

Ⅱ 事前審査（該当者のみ）

出願資格(3)(4)に基づく出願希望者について、出願資格の認定のため、次のとおり事前審査を行います。

1 手続方法

(1) 提出書類

書 類 等	備 考
① 志願理由書 ・ワープロソフトで作成したもの（A 4 判、本文 3,200 字以内）。 ・学歴・職歴、卒業論文・実務経験など、これまでの学習内容、大学院で研究しようとするテーマ、解明したい事項などを具体的に記述してください。	提出書類⑫
② 最終学歴の成績証明書 ・国外の学校の卒業生で、成績証明書が発行されない場合のみ、成績書のコピーを使用してもかまいません。その場合、 <u>当該コピーが原本と相違ないことを証明する大使館等の公的機関による証明が必要です。</u> また、日本語訳を必ず添付してください。	成績書の原本は受け付けません。
③ 研究計画書 ・ワープロソフトで作成したもの（A 4 判、本文 2,000 字以内）。 ・大学院で研究しようとするテーマ、解明したい事項などを具体的に記述してください。	提出書類⑥
④ 修士と同等以上の学力を証明する論文、学位論文、主要学術論文 ・別刷（又は写し）を各 4 部添付してください。	左記の論文について、提出できるものをすべて提出してください。
⑤ 業績一覧書 ・学術論文、学会発表などの研究業績及び実務上の業績リスト（共同研究、共著、共同開発などの場合には、何を分担したかを付記してください）。	提出書類⑩
⑥ 研究・実務経験調書 ・ワープロソフトで作成したもの（A 4 判、本文 2,000 字以内）。 ・これまでの研究の概要又は実務経験・職務上の業績をまとめたもの。研究業績、実務経験・職務上の業績の両方にわたってもかまいません。	提出書類⑪
⑦ 審査結果送付用封筒 ・市販の封筒（長形 3 号）に住所、氏名、郵便番号を明記し、「審査結果在中」と朱書きした上で、410 円分の切手を貼ってください。	

(2) 提出方法 本学所定の様式を用い、提出前に提出書類がすべてそろっていることを確認のうえ、市販の封筒（角形 2 号）に「経済・経営研究科博士後期課程 事前審査書類在中」と朱書きし、下記の提出先へ「持参」又は「郵送（簡易書留・速達）」してください。本学所定の様式等を使用しない場合は受け付けません。

(3) 提出期間 2024（令和 6）年 12 月 11 日（水）～12 月 18 日（水）
○持参の場合 午前 9 時から午後 5 時まで（土曜日、日曜日及び祝日は受付を行いません。）
○郵送の場合 12 月 18 日（水）の午後 5 時【必着】

(4) 提出先 〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町 1300 高崎経済大学 入試広報グループ入試チーム

2 審査結果

事前審査の結果は、下記の日程で郵送により本人あてに通知します。

2025（令和 7）年 1 月 9 日（木）

3 出願手続

事前審査により出願資格の認定を受けた者は、本募集要項に基づく出願手続（18～19 ページ）を行ってください。

Ⅲ 出願手続等

1 出願手続

- (1) 出願方法 本学所定の様式を用い、提出前に提出書類がすべてそろっていることを確認のうえ、市販の封筒（角形2号）に本学ホームページからダウンロード・印刷した「出願用宛名ラベル」を貼付し、下記の出願先へ「持参」又は「郵送（簡易書留・速達）」してください。本学所定の様式等を使用しない場合は、出願を認めません。
- (2) 出願期間 2025（令和7）年1月20日（月）～1月27日（月）
○持参の場合 午前9時から午後5時まで（土曜日、日曜日及び祝日は受付を行いません。）
○郵送の場合 1月27日（月）の午後5時【必着】
- (3) 出願先 〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町1300 高崎経済大学 入試広報グループ入試チーム
- (4) 入学検定料 30,000 円
 （本学ホームページからダウンロード・印刷した「入学検定料振込依頼書」により、金融機関（郵便局、ゆうちょ銀行除く）で納入してください。ただし、本学大学院博士前期課程修了見込みの者で、引き続き博士後期課程に入学を志願する者については不要です。なお、振込手数料は本人負担となります。）
 ※納入した入学検定料は、どのような理由があっても返還しません。ただし、次の①又は②に該当する場合は入学検定料を返還しますので、1月27日（月）までに、入試広報グループ入試チームまで問い合わせてください（振込手数料は本人負担となります）。
 なお、①②のほか、出願を受理しなかった場合は、本学から返還手続の案内を行います。
 ① 二重に納入した場合
 ② 入学検定料の納入後、出願手続をしなかった場合
- (5) 提出書類
 下記の【志願者全員が提出する書類等】及び【該当者のみ提出する書類等】を一括して提出してください。
 書類がすべてそろっていない場合及び書類に不備がある場合は受け付けません。
 また、出願手続後は、提出書類の返却及び記載事項の変更は認めません。ただし、氏名・住所・電話番号に変更があった場合は、事前に連絡をした後、変更事項を「簡易書留」で入試広報グループ入試チームまで郵送してください。

【志願者全員が提出する書類等】

書 類 等	備 考
① 入学志願票 ・写真2枚（同一の写真）は、B・C票の写真貼付欄の規定にしたがって貼ってください。入学検定料の振込連絡票はD票に貼ってください。	提出書類④、⑤
② 修士又は博士前期課程修了（見込）証明書 ・国外の学校の卒業生で、卒業証明書が発行されない場合のみ、卒業証書のコピーを使用してもかまいません。その場合、 <u>当該コピーが原本と相違ないことを証明する大使館等の公的機関による証明が必要です。</u> また、日本語訳を必ず添付してください。 （ただし、出願資格(3)(4)により出願する者は、学部等の卒業証明書）	卒業証書の原本は受け付けません。
③ 修士又は博士前期課程の成績証明書 ・国外の学校の卒業生で、成績証明書が発行されない場合のみ、成績書のコピーを使用してもかまいません。その場合、 <u>当該コピーが原本と相違ないことを証明する大使館等の公的機関による証明が必要です。</u> また、日本語訳を必ず添付してください。	成績書の原本は受け付けません。 事前審査を行った方は、提出不要です。
④ TOEICの公式認定証、TOEFL iBTのOfficial ScoreReport（公式スコア票）（注1）又は英検の合格証明書（注2）	TOEIC、TOEFL iBTを利用する場合は、出願最終日までに大学へ直接送付されるよう各機関に手続きすること
⑤ 研究計画書 ・ワープロソフトで作成したもの（A4判、本文2,000字以内）。 ・大学院で研究しようとするテーマ、解明したい事項などを具体的に記述してください。	提出書類⑥ 事前審査を行った方は、提出不要です。
⑥ 修士論文又は主要学術論文 ・別刷（又は写し）を4部提出してください。	事前審査を行った方は、提出不要です。
⑦ 受験票送付用封筒 ・市販の封筒（長形3号）に住所、氏名、郵便番号を明記し、「受験票在中」と朱書きした上で、410円分の切手を貼ってください。	

(注1) TOEIC の公式認定証又は TOEFL iBT の Official Score Report (公式スコア票) の提出は、出願期間最終日までに大学へ直接送付されるように各機関に手続きをしてください。

[TOEIC スコア]

- ・送付制度の詳細は次の WEB サイトを参照してください。
直送制度案内HP <https://www.iibc-global.org/toEIC/test/lr/guide04/score.html> (日本語版)
<https://www.iibc-global.org/english/toEIC/test/lr/guide05/score.html> (英語版)
- ・送付先は次のように記入してください。
送付先学校機関名：高崎経済大学
送付先住所：〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町 1300
送付先部署・係：入試広報グループ入試チーム
- ・送付についての問合せ先
一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会 IIBC 試験運営センター 公式認定証直送係
TEL：03-5521-6033

[TOEFL iBT スコア] ※Test Taker Score Report (受験者用控えスコア票) は使用できません。

- ・送付制度の詳細は次の WEB サイトを参照してください。
TOEFL 公式サイト (日本) <https://www.toefl-ibt.jp>
ETS 公式サイト (米国) <https://www.ets.org>
- ・TOEFL iBT 受験申込時に DI コード番号を所定欄に記入するか、すでに受験が終わっている場合は TOEFL 実施機関である ETS に送付手続きをしてください。
- ・送付のための DI コード
高崎経済大学の DI コード：2 1 7 7

(注2) 英検の合格証明書は出願書類と一緒に原本 (英文・和文いずれも可) を提出してください。

英検についての詳細は、次の WEB サイトを参照してください。

英検公式サイト <https://www.eiken.or.jp>

【該当者のみ提出する書類等】

該 当 者	書 類 等	備 考
提出可能な志願者 (全員)	業績一覧書 ・学術論文、学会発表などの研究業績及び実務上の業績リスト (共同研究、共著、共同開発などの場合には、何を分担したかを付記してください)。	提出書類⑩ 事前審査を行った方は、提出不要です。
	研究・実務経験調書 ・ワープロソフトで作成したもの (A4判、本文 2,000 字以内)。 ・これまでの研究の概要又は実務経験・職務上の業績をまとめたもの。研究業績、実務経験・職務上の業績の両方にわたってもかまいません。	提出書類⑪ 事前審査を行った方は、提出不要です。
日本国籍を有しない者 (全員)	住民票の写し ・日本国内の市区町村発行の在留資格を明記したもの ・マイナンバー (個人番号) の記載がないもの	コピー不可
	日本語能力試験の成績証明書 (N1 レベルの合格がわかるもの)	コピー不可 日本の大学・大学院を卒業・修了 (見込み) している者は提出不要
長期履修申請者 (全員)	長期履修生申請書	提出書類⑨
	在職証明書 (就労時間及び就労する曜日がわかるもの) 等の修学、研究の時間が制限される事を証明する書類	様式は問いません。

2 試験日 2025（令和7）年2月16日（日）

3 試験場 高崎経済大学

4 合格発表 2025（令和7）年2月21日（金）

合格者には、郵送により本人あて（入学志願票の現住所）に合格通知書を送付します。併せて、合格発表日の午前10時から一定期間、合格者の受験番号を本学ホームページに掲載しますが、合格通知書をもって正式な通知とします。電話等での可否の問い合わせには応じません。

5 入学手続

(1) 手続方法 入学手続期間内の決められた時刻までに、入学料を納入し、入学手続書類を下記の手続先へ「持参」又は「郵送（簡易書留・速達）」してください。詳細は、合格通知書同封の「入学手続の手引き」でお知らせします。

(2) 手続期間 2025（令和7）年2月21日（金）～3月7日（金）

○持参の場合 午前9時から午後5時まで（土曜日、日曜日及び祝日は受付を行いません。）

○郵送の場合 3月7日（金）の午後5時【必着】

(3) 手続先 〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町1300 高崎経済大学 入試広報グループ入試チーム

(4) 入学料

納 入 金	金 額	備 考
入 学 料（注1）	282,000 円	高崎市内者（注2）及び本学卒業生は141,000 円

上記の額は、2024（令和6）年4月1日現在のもので、改定することがあります。納入方法等は「入学手続の手引き」でお知らせします。

※本学大学院博士前期課程修了見込みの者又は本学大学院博士前期課程を2024（令和6）年9月に修了した者で、引き続き博士後期課程に入学する者については、入学料は不要となります。

（注1）納入した入学料は、どのような理由があっても返還しません。ただし、次の①又は②に該当する場合は入学料を返還しますので、3月7日（金）までに、入試広報グループ入試チームまで問い合わせてください（振込手数料は本人負担となります）。

① 二重に納入した場合

② 入学料の納入後、入学手続をしなかった場合

（注2）高崎市内者とは、2025（令和7）年4月1日現在において、本人自身、その者の配偶者又は1親等の親族が、引き続き1年以上高崎市に住所を有する者（2024（令和6）年4月1日から2025（令和7）年4月1日まで引き続き高崎市に住民登録のある者）をいいます。

なお、高崎市内者は入学料の納入に関して確認手続があります。詳細は「入学手続の手引き」でお知らせします。

(5) 合格者が、入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、合格者としての権利を失うとともに、入学辞退者として取り扱います。

6 入学料以外の入学初年度納入金

納 入 金		金 額	備 考
授業料	前 期	260,400 円	4月徴収予定
	後 期	260,400 円	10月徴収予定
諸会費等	学生教育研究災害傷害保険料	2,600 円	入学時（3年間分）
	学会費	6,000 円	入学時（3年間分）
	後援会費（注）	37,500 円	入学時
	同窓会費（注）	20,000 円	入学時
小 計		66,100 円	
合 計		586,900 円	

上記の額は、2024（令和6）年4月1日現在のもので、改定することがあります。改定が行われた場合には、改定後の授業料及び諸会費等が適用されます。納入方法等は、「入学手続の手引き」でお知らせします。

（注）後援会費及び同窓会費について、すでに納入した本学卒業生又は本学大学院博士前期課程修了者（修了見込者を含む）は不要です。

7 個人情報の取り扱い

出願及び受験に伴う個人情報は、入学者の選抜（統計処理などの付随する業務を含む）に使用します。また、入学者については、教務関係、学生支援関係及び授業料等徴収関係に関する業務を行うために使用します。なお、以上の業務にあたり、一部の業務を個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、外部の事業者委託することがあります。

8 その他

- (1) 障害のある者等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性のある志願者は、出願の前にあらかじめ入試広報グループ入試チームに相談してください。
- (2) 授業料の減免又は分割納入については本学学生支援チームにお問い合わせください。

高崎経済大学 教育グループ学生支援チーム

T E L 027-344-6262（直通）

E-mail gakusei@tcue.ac.jp

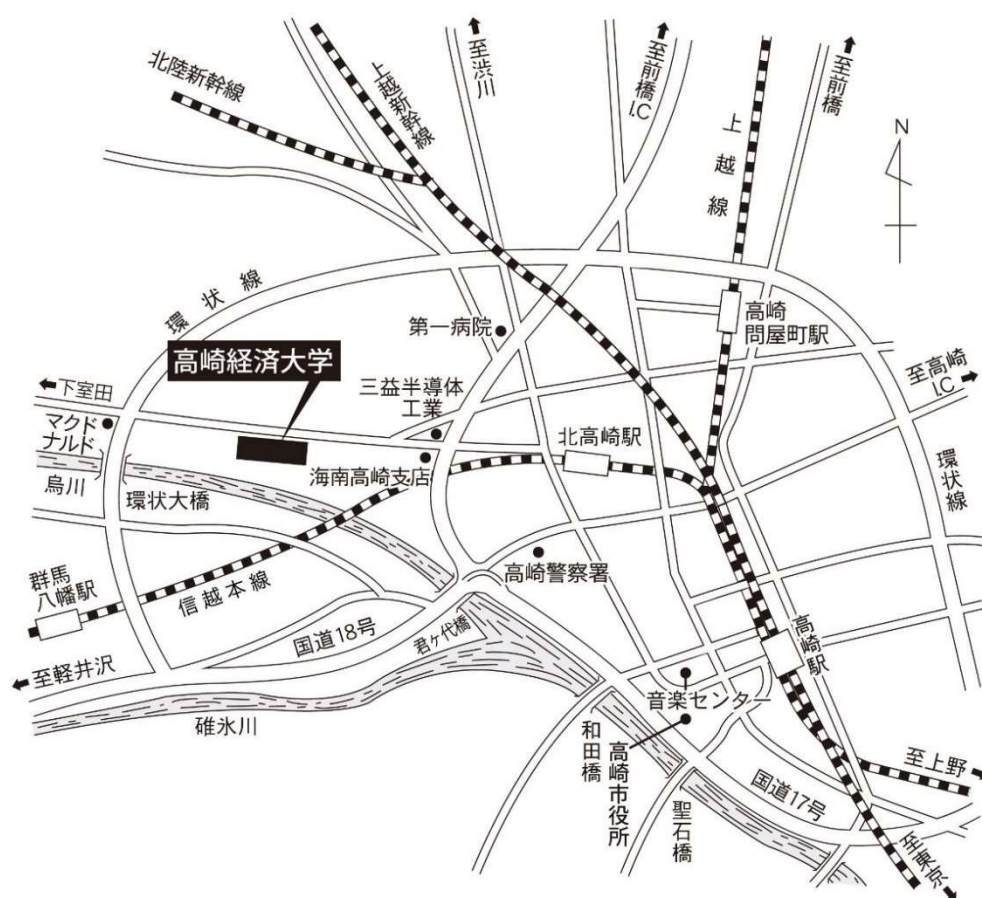
- (3) 奨学金については、本学ホームページ「キャンパスライフ」－「学費・奨学金等」を確認し、詳細は、日本学生支援機構、教育グループ学生支援チーム又は出身大学等に問い合わせてください。奨学金を利用する場合は、事前に内容、時期等を関係機関で確認してください。

IV 研究指導教員の概要

入学を許可された場合には、出願時に選択した研究指導分野と併せて同担当教員の研究科目を必ず履修しなければなりません。

研究指導分野・講義	担当教員	講義等の内容
企業財務特別演習 企業財務研究指導	阿部圭司	コーポレート・ファイナンスにおける諸問題を探究する。 企業、投資家の行動が金融・証券市場、企業価値にどのような影響を及ぼすのかについて、投資家と経営者の双方の視点に立った研究を進める。
日本経済史特別演習 日本経済史研究指導	富澤一弘	農村経済史研究の一環として、17世紀より20世紀に至る関東農村の歴史的展開過程に注目、土地制度、税制、生業、労働、その他、重要主題に即して詳密に検討、あわせて高度な関連史料・文献を講読していく。
経営組織特別演習 経営組織研究指導	藤本哲	自らの実務的な問題関心を導きの糸に経営組織論や組織行動論の理論および先行研究から学び、観点を選びとって、研究を進める。自分の研究を学問体系に位置付けるよう意識して取り組む。

高崎経済大学大学院案内図



【交通】

○高崎駅西口から群馬バス（2番乗場）で約20分
 本郷経由室田行
 沖経由箕郷行
 榛名湖行 } 「経済大学前」下車

○高崎駅西口から市内循環バスぐるりん（4番乗場）で約20分
 系統番号3 経大先回り「高経大前」下車

問 い 合 わ せ 先

〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町 1300 番地
 高崎経済大学 入試広報グループ入試チーム

TEL 027-343-5417（代表）

027-344-6265（直通）

FAX 027-344-7892

E-mail nyushi@tcue.ac.jp

ホームページアドレス <https://www.tcue.ac.jp/>

入試当日の緊急連絡は 027-343-5417（代表）へお願いします。